

15周年「ふれあいエコウォーク」詳細決まる 4月25日東京・日本橋を出発 中山道を29泊で京都へ

第6回「15周年記念行事企画実行委員会」は、10月8日午後、本部会議室で開かれた。

中山道ウォークがメインテーマとなつたが、ほぼその全体計画が明らかになつた。

冒頭まず会長から今回の「ナルク設立15周年記念行事」の全体テーマを「エコ」にする旨提案があり、それに伴い中山道ウォークも正式タイトルを「15周年ふれあいエコウォーク」と決定した。

■全国一斉に植樹

女性の視点 自分らしく



五十嵐秀子（水戸）
女性は夫や子ども、あるいは仕事のためと自分に言い聞かせて生活することに慣れてしまっています。

木寛之の著書「人生の目的」に刺激されたようです。
女性は夫や子ども、あるいは仕事のためと自分に言い聞かせて生活することに慣れてしまっています。

そこで何年も前になりますが、手話サークルに参加することになりました。手話も奥集まりは、



フラダンスの会も生き甲斐です

が深く、極めるのはなかなか大変です。しかし障害をもつ方のお役に少しでもなればと思いつ、「一生懸命取り組みました。

本当に心地よいものです。
思えば林代表とも、この手話の会で偶然お会いしたのでした。

勿論初対面でしたがナルクのことを一生懸命話してくださったのがとても印象的でした。そのうちに私も大いに触発され、「ナルク水戸」設立のための勉強会、そして設立総会と、情熱を注ぐようになりました。30名になりました。思い出深い8年間でした。

8年たった今は「たゞえ年をとつても、もうけたいと思うようになりました。そして将来自分が生きてきた「証し」みたいなもの

を子どもや孫たちにそつと話して聞かせたいと思っています。

ナルクも、一人でも多くの若い方たちが

「もっと何かしたい、社会の役に立ちたい」と思ってくれるボランティアであり続けたのです。

女性の視点

自分らしく

子どもの親離れを機に「自分らしく生きてみたい」という気持ちがとても強くなりました。五

木寛之の著書「人生の目的」に刺激されたようです。
女性は夫や子ども、あるいは仕事のためと自分に言い聞かせて生活することに慣れてしまっています。

木寛之の著書「人生の目的」に刺激されたようです。
女性は夫や子ども、あるいは仕事のためと自分に言い聞かせて生活することに慣れてしまっています。

ふれあいの文字が入ったのは、ウォークの目的が

エコに加えて「元気な高齢者づくり」というテーマを掲げ、地域の高齢者との交

りあいの時をもつ。

そのためには事前に植樹先を内定しておく必要もあり、早めの取り組みが求められている。

そのためには事前に植

樹先を内定しておく必要もあり、早めの取り組みが求められている。

そのためには事前に植

樹先を内定しておく必要もあり、早めの取り組みが求められている。

そのためには事前に植

樹先を内定しておく必要もあり、早めの取り組みが求められている。

そのためには事前に植

樹先を内定しておく必要もあり、早めの取り組みが求められています。

